

令和5年度 3年選択「ビジネス基礎」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	園芸・自動車科 3年 A組～B組
教科書	ビジネス基礎 新訂版 (実教出版)	副教材等	担当者によるプリント

1 学習の到達目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することを目指す。

2 重点目標

- (1) ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 商業の学習ガイダンス	1. 21世紀にはばたく 2. しっかり楽しく学んでいこう	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスで学ぶマーケティング、ビジネス経済、会計、ビジネス情報の4つの分野の概要を理解する。 ・経済とは「経世済民」を略したものであり、生産・流通・消費の一連のつながりを学習する。 	ビジネスの基礎について理解できたか。定期考査、小テストで知識・技能を確認する。
	第2章 経済と流通の基礎	1. 経済のしくみとビジネス 2. 社会の変化とビジネスの発展		
5	第3章 ビジネスの担い手	3. 経済活動と流通	<ul style="list-style-type: none"> ・流通の歴史と発展、役割について具体例や時事問題を通じて学習する。 ・ものの生産者の役割、種類、動向を理解する。 ・サービスの生産者の役割、種類、動向を理解する。 	考査得点
		1. ものの生産者 2. サービスの生産者		
6		3. 小売業 4. 卸売業 5. 物流業 6. 金融業	<ul style="list-style-type: none"> ・小売業と卸売業の関連性について学習する。また、それぞれの役割・種類と社会とのつながりを理解する。 ・物流業の役割と種類を具体的に学習し、それに付随する業務を理解する。 ・金融業のもつ役割（銀行の三大業務）を具体的に解説する。また保険会社のビジネスについて理解する。 	ノートやレポート提出により思考・判断・表現と主体的に学習に取り組む態度を確認する。
7		7・情報通信業	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の情報化社会における通信業やインターネット関連サービス業を学習する。 	考査得点
9	第4章 企業活動の基礎	1. ビジネスと企業 2. 資金調達 3. 企業活動と税 4. 雇用 5. 企業倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・企業が社会に果たしている役割と、どのように分類されるかを学習する。 ・企業が資金調達を行う方法を学び理解する。 ・企業が納める税金について理解する。 ・企業は従業員が安心して働き生活の安定を支援していることを理解する。 ・企業の良心を企業倫理といい社会的責任があることを学習する。 	企業の基礎と、売買取引の手順を理解できたか。小テストで知識・技能を確認する。
10	第5章 ビジネスと売買取引	1. 売買取引の手順 2. 代金決済	<ul style="list-style-type: none"> ・売買契約に必要な見積書、注文書、請求書、領収証の意味と使い方を学習する。 ・小切手、約束手形、為替手形、クレジットカード、電子マネー等の特徴を理解する。 	考査得点

10	第6章 売買に関する計算	1. 売買に関する計算の基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス社会で使用されるビジネス計算の基礎について電卓を使い計算する。 ・何割増し、何割引きは頻繁に使われるので重点的に学習し理解する。 ・計算問題を多く解いて計算式を覚えて思考力を高める学習を行う。 	計算問題の小テストを行い技能、知識・理解を確認する
----	--------------	------------------	---	---------------------------

11		2. 売買に関する計算の応用	<ul style="list-style-type: none"> ・外国貨幣の換算、利息の計算、利息の日数計算の基礎を学習する。 ・単利計算と複利計算の違いを解説し練習問題を多く解いて理解を高める。 ・利息の日数計算を解説し大の月、小の月の違いを学習する。 	計算問題の小テストを行い技能、知識・理解を確認する
12	第7章 ビジネスとコミュニケーション	1. コミュニケーション 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの役割と種類を学習し、何処の職場に行ってもコミュニケーションが重要であることを理解する。 	考査得点
1 2 3		2. ビジネスマナー 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・話し方、聞き方のポイントを理解する。 ・ビジネスマナーの重要性を解説し、挨拶・言葉遣い、電話の応対を理解する。 	レポート、ノートの提出物で関心・意欲・態度を確認する。 考査得点

4 評価の観点

関心・意欲・態度	経済と流通のしくみや企業・売買の意義と役割について関心を持ち、基礎知識を吸収しようとしているか。
思考・判断・表現	基礎知識を社会生活の中で、活用・応用して将来各自の進路と関連させながら思考、判断を行っていけるか。
技能	社会の動向に反応し情報収集を積極的に行い、それに対して自分の考えを持ち相手に伝えることができるか。
知識・理解	実務で必要とされる知識や常識を習得できているか。ビジネス活動に関する用語の意味を理解しているか。

5 評価の方法

考査7割、出席状況、授業への取り組み方、提出物などの平常点を3割の配分として総合的に判断します。
--

6 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

「ビジネス基礎」は実社会での実務基礎や社会人として身に付けておくべき事まで幅広く学習するので将来の進路と関連付けて理解を深めてください。ビジネス計算はビジネスの世界では日常的に使われているので考え方の基礎を身に付け将来実践で活用できるようにしてください。また授業は緊張感と3年生としての自覚を持って取り組んでください。
